



特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟 2023年度第2回理事会次第

日時 2023年9月9日(土) 13:30~17:00

場所 オンライン(Zoom) ※台風状況を踏まえ、全員リモート参加とした。

出席者

理事 9名中5名出席

長谷川勝壽会長、田中辰美常務理事、田口亜希理事、北村綱為理事、粟生由紀理事

監事

委任状出席 菅野利雄監事

欠席者 馬渡崇理事、久米高治理事、成山悟史理事、浜村敏弘理事

議事録署名人：長谷川会長、田中常務理事、田口理事

田中常務理事から、議長は田中常務理事が務める旨の提案があり、異議なく了承された。

田中常務理事から、議事録署名人に長谷川勝壽会長、田中常務理事、田口理事の三名が提案され、異議なく了承された。

<長谷川勝壽会長挨拶>

パリ大会に向けての最終段階に入った。選手強化は概ね順調な気持ちだが、もう一歩足りない点がある。選手およびスタッフは大変だと思うが、身体に気をつけて活動を行ってほしい。

新たに事務局員が入ったこともあるので、今後はスムーズな運営体制を心がけていきたい。

<議事>

1 選手強化部会(審議事項)

1-1 2023年度 強化指定選手決定通知について

田中常務理事から「2023年度 強化指定選手決定通知(案)」についての説明があった。佐々木大輔選手が下期選考会において強化指定 B の基準点を突破したとの報告があり、佐々木選手の強化指定 B 入りは異議なく承認された。

田口理事より強化指定選手通知の告知の仕方に対して「誰でもわかるように」見やすく通知を行うようにとの改善案があった。粟生理事からも同意見があり、指定のフォーマットを変更することにした。

2 総務委員会(審議事項)

2-1 パラクレー射撃部会について

田中常務理事から、パラクレー部会代表の石原氏より JPC スポーツコーチ資格取得講習の件についてのお尋ねを頂いている件の説明と、石原氏は昨年度 WSPS ワールドカップ・チャンピオン大会の参加料がパラクレー射撃部会から未払いであるにも関わらず今年度 12 月の WSPS ワールドカップ・アルアイン大会に出場を希望している旨の説明があっ

た。チャンウォン WC は昨年 5 月に実施された。昨年度に請求書の発行・送付を行ったが、現在まで未払いである。この件を踏まえ、連盟としてパラクレ部会に対してどの様に接すべきか議論の必要があると説明した。

田口理事から、上記に加えて石原氏より「不適切な会計処理が行われていると」指摘があったことについての説明があった。石原氏は「連結決算は存在しないので過去の決算を訂正してほしい、謝金に掛かる源泉徴収を返金してほしい」と指摘がある点について、浜村理事が部会長のとときに田中常務理事(当時連盟事務局長)と合意が有り、連盟の中で決算処理を行った経緯の説明があった。さらに、源泉徴収に関してはパラクレ部会側で行っており、連盟からの返金には応じることができないとの意見がなされた。これに対し、田中常務理事から田口理事の説明のとおりであると同意があった。

アルアイン WC の申込みに関しては、田口理事から、「9 月 15 日(ファーストエントリー)までにチャンウォン WC の未払い分を支払った上、10 月 15 日(ファイナルエントリー)の際に概算支払いを行えば認める」との提案があり、異議なく承認された。

3 選手強化部会(報告事項)

3-1 2023 年リマ世界選手権(WCH)派遣について

田中常務理事から、リマ WCH 選手団の説明があった。リマ WCH はパリ大会のダイレクトスロット(DS)が一番多く配分されるため、重要な大会と位置づけている。強化戦略プランでパリ大会のダイレクトスロット獲得目標数は4つと定めている。現在は瀬賀亜希子選手の1個のみである。今大会も世界中からたくさんの選手が集まるのでDS獲得は容易ではないが、目標に向けて頑張っていきたいとの発言があった。

田口理事から、選手団の一覧に同行者が入っていることに対する質問があった。派遣依頼書を同行者に出している件に対して、同行者が問題を起こした際の責任所在などについて問われた。田中常務理事は、同行者への派遣依頼書の発行について「今回に関しては該当する選手は怪我の治療明けなので同行者が不在では遠征が難しいと判断した結果発行した」と説明し、今後のために「同行者は選手団の一員か、一員ではないか」について審議が必要と説明した。

田口理事から、田中常務理事から同行者は選手団の一員と見ているとの見解であったが、行動規範の説明会が同行者に対しては対象外となっている件について指摘があった。粟生理事から、同行者が選手団の一員であるなら同行者と誓約書等を交わすべきなのではないかと問題提起があった。北村理事から、同行者の責任所在の件も発生するのではっきりとすべきだとの発言があった。田口理事から、他競技の例も参考にして、同行者の規程整備を進めていくべきであるとの発言があった。

3-2 杭州 2022 アジアパラ競技大会・射撃選手団について

アジアパラ競技会は本来は 2022 年に開催予定であった。アジア大会が今年に延期され

たことによってアジアパラ競技会も延期され今年開催されることになった。JPC から選手団発表があり、射撃は4名の選手が出場することになった。

田口理事から、「スタッフの選考規程」についての質問があった。現在連盟は「スタッフの選考規程」が未整備であるという課題が残っているので、今後パリに向けて強化部会の方で規定整備を行っていくべきと発言があった。田口理事から、9月の強化会議で話し合い、10月の強化会議で議論して叩き台の作成、次回11月の理事会までに提示できるようにとの提案があり、異議なく承認された。

4 総務委員会(報告事項)

4-1 定款の改訂について

これまで定款の不備や矛盾が指摘されてきた。田中常務理事から、理事会の定足数についての記載がないことに対する言及があったが、今の段階では進捗がない現状が共有された。今後はそれも含めた定款全体の不備を修正するという方向性の報告があった。

田口理事から、予算の関係上今年度中に完成させてほしいとの意見があった。田中常務理事から、9月中に司法書士に連絡をしたのち内部で検討をし、11月の理事会までに進めていくとの発言があった。

4-2 パートナー契約について

田中常務理事から、日油株式会社様とパートナー契約を締結したことの報告があった。日油株式会社様の意向もあり、トップアスリートだけでなくビームライフルを含む普及活動にも力を入れて行きたいとの説明があった。

5 P.United の立ち上げおよび活動について(会務報告)

田中常務理事から、パラスポーツ9団体の共同プロジェクトP.Unitedの発足(加入)経緯と活動の説明があった。

6 経営基盤の強化・安定に向けた取組(JSC事業)について(会務報告)

田中常務理事から、団体目標を示した「経営基盤の強化・安定に向けた取組」についての説明があった。

7 質疑応答

議事終了後の質疑応答において、田口理事から、スポーツ庁のガバナンスコードに沿った理事の任期についての問題提起があった。田中常務理事から、スポーツ庁のガバナンスコードには理事の連続任期は10年間と定められており長谷川会長と田中常務理事が20年になり、来年6月には理事を降りなくてはならないため、次回理事会までには整備を進めなくてはならないとの発言があった。

2024年3月23日


議事録署名人

特定非営利活動法人日本パラ射撃連盟

議長・常務理事

田中 辰美 

会長

長谷川 勝寿 

理事

田口 亜希 

以上